

システム設計上のご注意

使用電線について

制御装置～住宅情報盤 : FCPEV-1Pr φ0.9またはφ1.2※

制御装置～ロビーインターホン・管理事務室親機 : FCPEV-2Pr φ0.9またはφ1.2

※φ0.65を使用すると配線長が制限されます。

φ0.9,1.2 : 150mに対して、通信線が0.8倍(120m)、電源線が0.5倍(75m)となります。

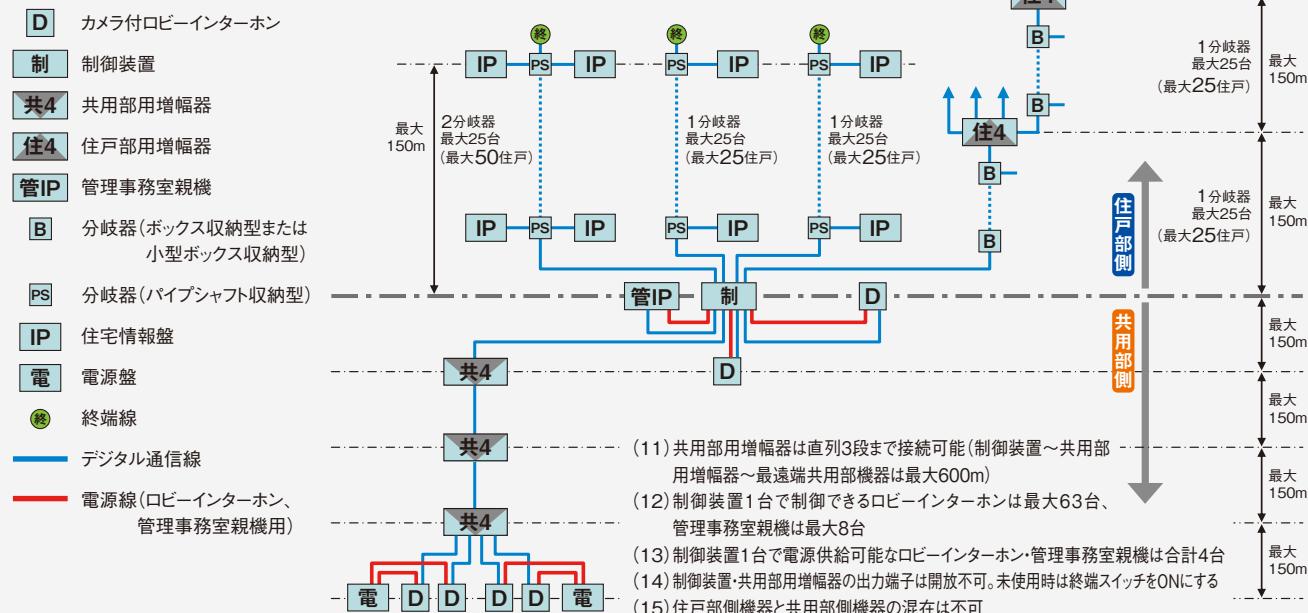
縦幹線配線方式と横渡り配線方式の違いについて

・縦幹線配線方式は、主に新築マンションや映像付インターホンリニューアル時に利用する方式

・横渡り配線方式は、主に映像無しインターホンリニューアル時に利用する方式

縦幹線配線方式のシステム仕様

- (1) 制御装置～最遠端分岐器は最大150m、分岐器～住宅情報盤は最大50m
- (2) 制御装置～最遠端分岐器が150mを超える場合は、住戸部用増幅器で150m延長可能
- (3) 住戸部用増幅器は直列3段まで接続可能(制御装置～住戸部用増幅器～最遠端分岐器は最大600m)
- (4) 制御装置、住戸部用増幅器の1出力あたり分岐器接続数は最大25台
 - (1分岐器使用時は最大25住戸/2分岐器使用時は最大50住戸)
- (5) 制御装置1台で制御できる住宅情報盤は最大1000台。
- (6) 分岐器の出力端子は開放不可。次段に住戸用分岐器もしくは住戸部用増幅器が接続されない場合は、出力に終端線を接続(終端線は制御装置、住戸部用増幅器に同梱)。住宅情報盤は接続できません
- (7) 組合せアダプタ接続用分岐器、組合せアダプタは縦幹線配線には使用不可(横渡り配線専用)
- (8) 制御装置～共用部機器(ロビーインターホン、管理事務室親機)は最大150m
- (9) 制御装置～共用部機器が150mを超える場合は、共用部用増幅器で150m延長可能
- (10) 制御装置1台につき共用部用増幅器と住戸部用増幅器の合計は最大64台



使用電線と配線長

場所	FCPEV φ0.9※3 FCPEV φ1.2	FCPEV φ0.65※3	HP φ0.9 HP φ1.2	HP φ0.65	備考
制御装置～最遠端分岐器	1Pr : 150m	1Pr : 120m	—	—	
制御装置～住戸部用増幅器※1	1Pr : 150m	1Pr : 120m	2Pr : 150m	2Pr : 120m	配線が150mを超えるとき、もしくは分岐器数が25台を超えるときは住戸部用増幅器が必要
住戸部用増幅器～住戸部用増幅器※1	1Pr : 150m	1Pr : 120m	2Pr : 150m	2Pr : 120m	住戸部用増幅器の1出力あたりの分岐器接続数：最大25台
住戸部用増幅器～最遠端分岐器※1	1Pr : 150m	1Pr : 120m	2Pr : 150m	2Pr : 120m	住戸部用増幅器は直列3段まで接続可能
分岐器～住宅情報盤※1	1Pr : 50m	1Pr : 40m	2Pr : 50m	2Pr : 40m	
制御装置～共用部機器※2	2Pr : 150m	2Pr : 75m	—	—	共用部機器の接続数が4台を超える場合は別途電源盤が必要
制御装置～共用部用増幅器	1Pr : 150m	1Pr : 120m	—	—	配線が150mを超えるとき、共用部機器が4台を超えるとき
共用部用増幅器～共用部用増幅器	1Pr : 150m	1Pr : 120m	—	—	共用部用増幅器は直列3段まで接続可能
共用部用増幅器～共用部機器※2	1Pr : 150m	1Pr : 120m	—	—	電源盤から別途電源線が必要 電源線はAEφ1.2-2CまたはAEφ0.9-2C
共用部用増幅器～電源盤～共用部機器※2	2Pr : 100m(φ1.2の場合) 50m(φ0.9の場合)	—	—	—	共用部機器までの配線が電源盤を経由する場合
電源盤～共用部機器※2	1Pr : 100m(φ1.2の場合) 50m(φ0.9の場合)	—	—	—	AEφ1.2-2CまたはAEφ0.9-2Cでも可
制御装置～通報機(RS232C)他	2Pr～4Pr : 15m	—	—	—	
制御装置～宅配ボックス(RS422)他	2Pr～4Pr : 100m	—	—	—	

※1 制御装置を使ったシステムの場合はFCPEV線をご使用ください。

※2 共用部機器とはロビーインターホン、管理事務室親機をさします。

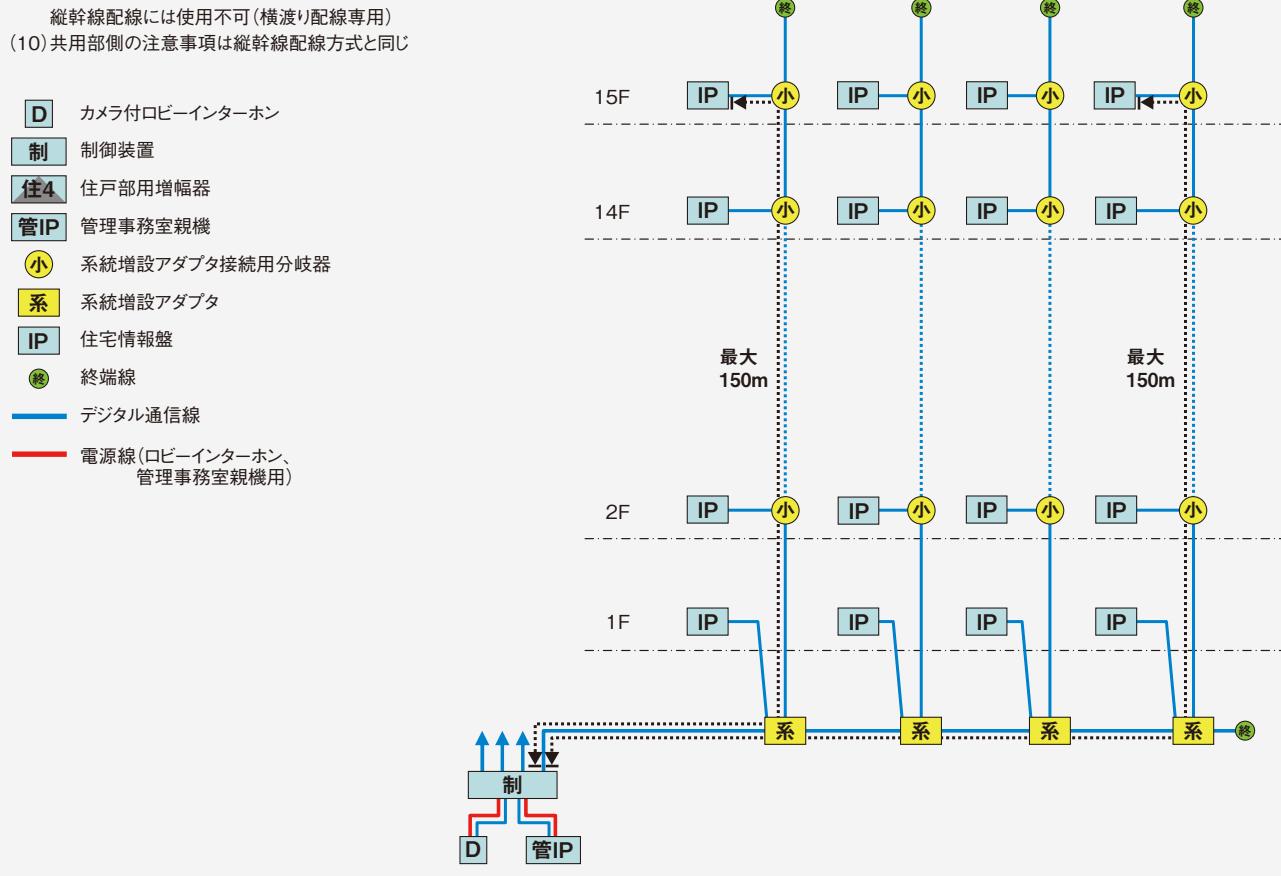
※3 信号線にAE線やカッド線を使用する場合、もよりの当社営業所までお問い合わせください。

注1) 信号線に10Prを超える電線は使用できません。(電源線はペア数の制限はありません。)

注2) マンションHA信号線と電力線(AC100V)、電話線は10cm以上離してください。

横渡り配線方式のシステム仕様(リニューアル対応方式)

- (1) 制御装置～最遠端住宅情報盤は最大150m(分岐器～住宅情報盤は最大50m)
- (2) 制御装置、住戸部用増幅器の1出力に接続できる系統増設アダプタは最大4台
- (3) 系統増設アダプタに接続できる系統増設アダプタ接続用分岐器は最大14台
- (4) 制御装置1出力に接続できる住宅情報盤は最大60台
- (5) 制御装置4出力用1台につき最大16系統、住宅情報盤は最大240台
- (6) 制御装置1台につき共用部用増幅器と住戸部用増幅器の合計は最大64台
- (7) 分岐器の出力端子は開放不可。次段に分岐器が接続されない場合は出力に終端線を接続
(終端線は制御装置、住戸部用増幅器に同梱)
- (8) 系統増設アダプタの送り端子は開放不可。
次段に系統増設アダプタが接続されない場合は送り端子に終端線を接続
(終端線は制御装置、住戸部用増幅器に同梱)
- (9) 系統増設アダプタ接続用分岐器、系統増設アダプタは
縦幹線配線には使用不可(横渡り配線専用)
- (10) 共用部側の注意事項は縦幹線配線方式と同じ



使用電線と配線長

場所	FCPEV $\phi 0.9$ ※2 FCPEV $\phi 1.2$	FCPEV $\phi 0.65$ ※2	HP $\phi 0.9$ HP $\phi 1.2$	HP $\phi 0.65$	備考
制御装置～最遠端住宅情報盤	1Pr: 150m	1Pr: 120m	—	—	1出力あたりの系統増設アダプタ接続数: 最大4台 系統増設アダプタ1台あたりの分岐器接続数: 最大14台
住戸部用増幅器～最遠端住宅情報盤※1	1Pr: 150m	1Pr: 120m	2Pr: 150m	2Pr: 120m	
制御装置～住戸部用増幅器	1Pr: 150m	1Pr: 120m	—	—	配線が150mを超えるとき1出力あたりの住戸部用増幅器接続数: 直列3台
分岐器～住宅情報盤※1	1Pr: 50m	1Pr: 40m	2Pr: 50m	2Pr: 40m	
系統増設アダプタ～住宅情報盤※1	1Pr: 50m	1Pr: 40m	2Pr: 50m	2Pr: 40m	

※1 制御装置を使ったシステムの場合はFCPEV線をご使用ください。

※2 信号線にCAE線やカット線を使用する場合、もよりの当社営業所までお問い合わせください。

注1) 信号線に10Prを超える電線は使用できません。(電源線はペア数の制限はありません。)

注2) マンションHA信号線と電力線(AC100V)、電話線は10cm以上離してください。